サンプルファイルの使い方

このドキュメントでは、アドビの HTML5特設サイト「Dreamweaver CS6とHTML5で今すぐ始めようスマートフォン&タブレット対応」（http://adobe-html5.jp/）からダウンロードしたjQuery Mobileのサンプルファイルを、Dreamweaver CS6で使用する為の設定手順を説明します。

設定に必要な作業は、大きく以下の3つです。

1. Dreamweaver CS6 のインストール
2. サイトの定義
3. 挿入パネルの動作確認

事前に用意するものは以下の2点です。

1. Dreamweaver CS6 製品版／体験版
2. HTML5特設サイトから提供される jQuery Mobile 版のサンプルファイル

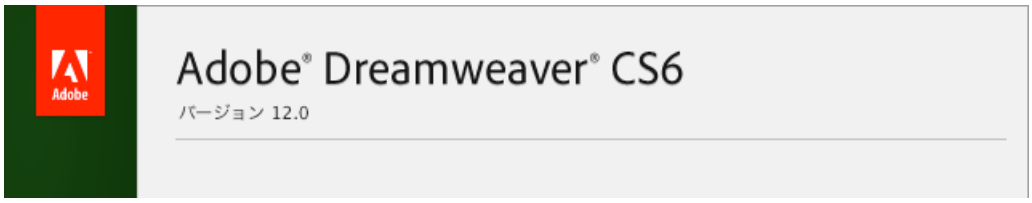
どちらも、HTML5特設サイト（http://adobe-html5.jp/）から入手できます。また、jQuery Mobileサンプルの内容は http://adobe-html5.jp/sp から確認することが可能です。

設定手順

1. Dreamweaver CS6 のインストール

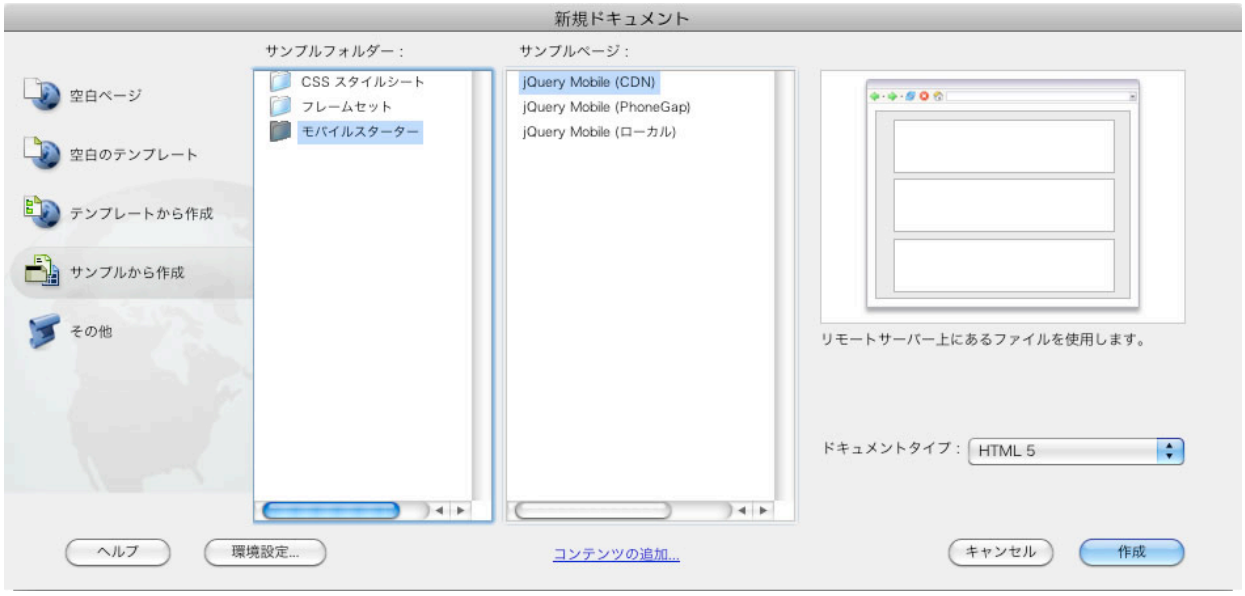
まず、Dreamweaver CS6 をインストールします。製品／体験版の入手は、HTML5特設サイト（http://adobe-html5.jp/）内のDreamweaver CS6バナーをクリックして、Dreamweaverの製品ページに移動してから、単体製品もしくはCreative Cloudを選択して下さい。（このサンプルの使用には、Dreamweaver CS5.5以降が必要です）

インストールが完了したら、動作確認のためDreamweaverを起動します。メニューから「Dreamweaverについて」を開きDreamweaver CS6が正しくインストールされていることを確



認してください。

Dreamweaverを起動した状態で、「ファイル」メニューから「新規」を選ぶと新規ドキュメントパネルが表示されます。「サンプルから作成」を選択すると、「モバイルスターター」内にjQuery Mobileテンプレートが追加されています。これでツール側の準備は完了です。

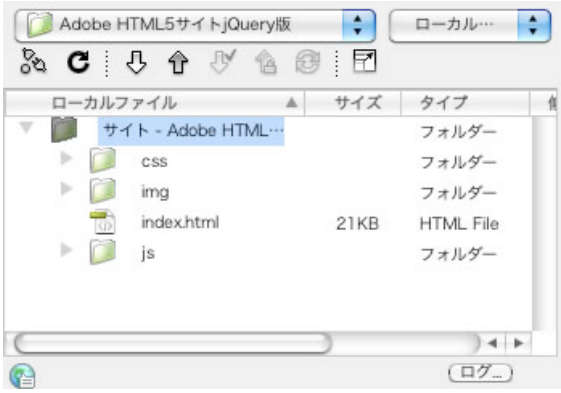


2. サイトの定義

ダウンロードしたzipファイルをダブルクリックして展開します。展開したらzip内に含まれているjquerymobileフォルダーを、適当な場所に移動します。

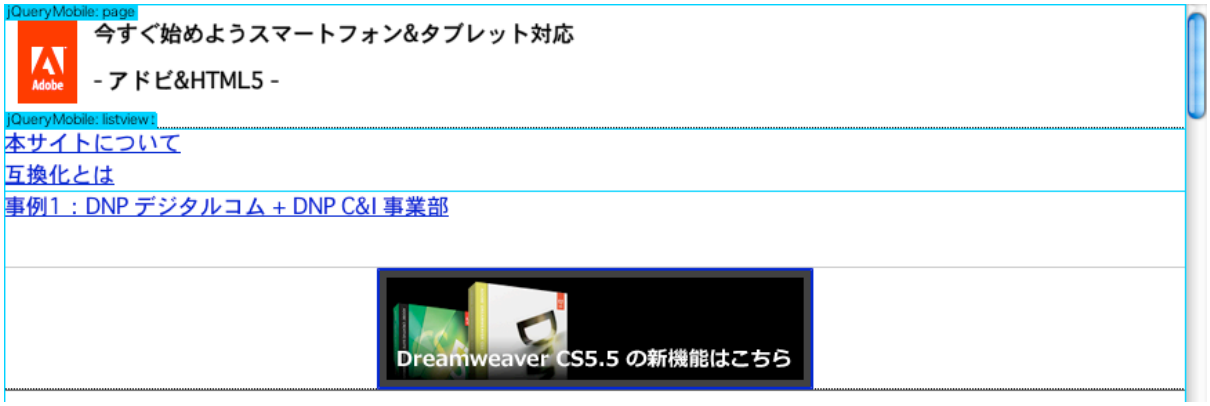
メニューバーの「サイト」メニューから「新規サイト」を選択すると、次のサイト設定ダイアログが開きます。

サイト名に適切な名前を、ローカルサイトフォルダーには先ほど展開したjquerymobileフォルダーの場所を指定します。「保存」をクリックするとサイト定義が生成されます。



ファイルパネルに、定義したサイトが表示されます。サイト名が上で指定したものと一致していることを確認して下さい。異なる場合は、パネル上部のプルダウンから目的のサイトを選択します。

パネル内でindex.htmlをクリックすると、ファイルがDreamweaverの編集領域に表示されます。この状態で、マウスでコンテンツの任意の場所をクリックすると、実際に使われているjQuery Mobileコンポーネントを確認することができます。



分割ビューの表示に変更すると、選択した領域のコードとデザインを同時に表示できます。
jQuery Mobileのコンポーネントはタグ内の属性として宣言されていることが確認できます。

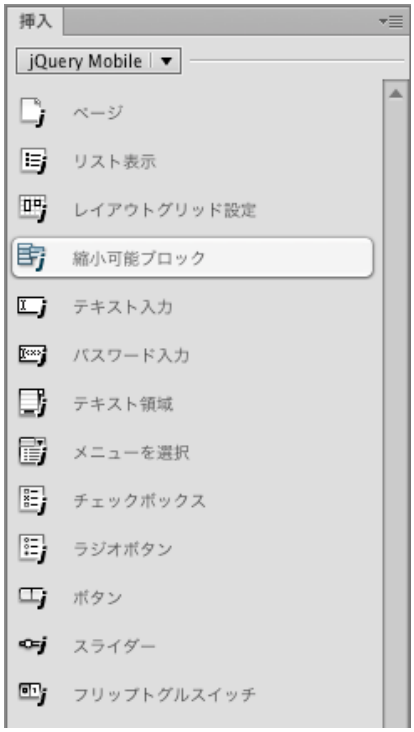
最後に、ドキュメントツールバーの「ライブビュー」をクリックして実際の動作を確認してみましょう。

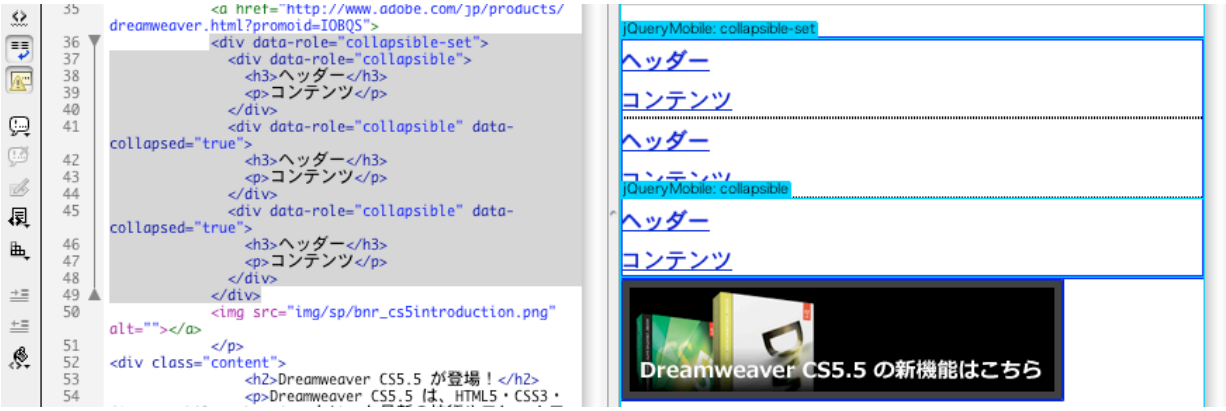
関連ファイルがツールバー上部に表示されているので、クリックしてそれぞれのファイルの中身も確認してみてください。

3. 挿入パネルの動作確認

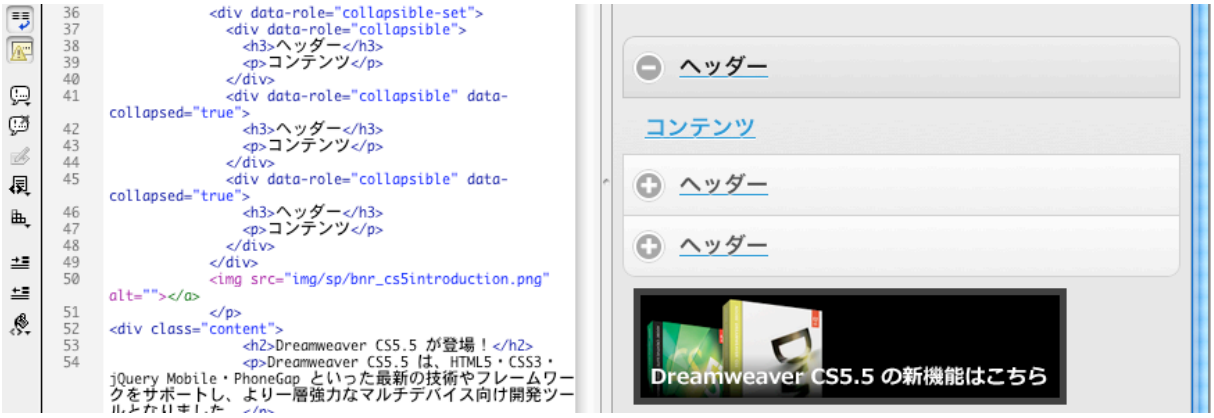
index.htmlがエディタ内に表示された状態で、ワークスペースを「デザイナー」に変更します。

「Dreamweaver CS5.5 の新機能はこちら」と書かれた画像をクリックして選択した後、挿入パネル内の「縮小可能ブロック」をクリックします。
すると、選択した画像の上に新しくコンポーネントが追加されます。コードも追加されていることが分かります。





ライブビューに切り替えて、新しいコンポーネントを操作してみましょう。



設定の確認は以上です、Dreamweaver を使ってコードを編集すれば、ヘッダーやコンテンツの変更や、新しいコンポーネントの追加が容易にできます。

別表：サンプル内で使用されている jQuery Moble コンポーネント一覧

```
page
header
content
listbox
button
```